

事業所名		新潟県はまぐみ小児療育センター			公表日 2026年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	指定上必要な面積は満たしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	指定上必要な人員配置は満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	ハード面で難しい点もありますが、トイレなど子どもにわかりやすい表示を工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	設備が古く使いにくい箇所がありますが、環境整備や清潔に心がけ、1日2回業者と職員による清掃を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	状況に応じて適切な部屋を使用できるようになっています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	組織全体の目標に沿って、全職員が各自取り組んでいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年1回実施し、必要な業務改善に努めています。ハード面での対応が難しい点もあります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年1回、職員による事業所評価や、組織全体でセルフチェックを行うことにより、業務改善を図っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	事業所自己評価を実施し、業務改善を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	所内の研修を定期的の実施する他、各自外部の研修に参加したり、研究活動に取り組んでいます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	適切に作成、公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	多職種の視点からアセスメントを行い、計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	多職種の視点からアセスメントを行い、計画を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員間で共有し、計画に沿って支援しています。また、支援に対する評価も共有し、次の計画に反映させています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	子どもの状況に応じて発達検査等の指標を活用したり、日々の活動状況等をもとにアセスメントしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	発達課題や家庭の状況、ライフステージなどを鑑み、それぞれ適切に支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	各グループの担当職員が中心となり指導員全体で活動プログラムの立案を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	活動の目的を明確にし、季節感なども取り入れたプログラムを月毎に計画しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	発達課題に応じ、小集団での活動や個別保育等の活動を取り入れて計画を作成しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝のミーティングで確認、実施しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	朝のミーティング時に申し送り、確認、共有しています。支援終了後の記録の時間に気づいた点等を話し合っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の保育記録、看護記録を徹底し、気づいた点について話し合い、改善を図っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	年2回の総合診察に合わせてモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	会議の目的に適した職員を派遣しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	利用者の状況に応じて、必要な地域機関や医療機関と連絡を取り合って支援しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	併用施設と連絡を取り合い、必要時は訪問等で情報共有を図りながら支援しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学支援ファイルの作成や直接の情報交換を通して、継続した支援ができるようにしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	3	3	地域自立支援協議会ワーキングチームへの参画、事業所連絡会等を通じ、地域の事業所と連携を図っています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	6	0	適宜外部研修等を受講し、スキルアップに努めています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	2	地域の自立支援協議会療育等支援部会に参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	地域の保育園等を併用している利用児も多いため、活動として交流する機会は設けていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	常時保護者と一緒に過ごす中で、職員の視点からの気づきを伝え、共通理解を得られるように心がけています。
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	保護者学習会で子どもとの関わり方や対応について学ぶ機会を設けています。また、必要に応じ個別にプログラムを実施するなどの支援を行っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用契約時に説明しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児童発達支援計画作成にあたっては、面談や総合診察を通じて家族等の意向を確認しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	適切に対応しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	いつでも相談対応できる体制をとっています。また、個別保育の時間等に保護者との個別面談ができる機会も確保しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	保護者学習会等を通じて、保護者同士の交流が促進されるよう支援しています。きょうだい同士が交流する機会は設けていませんが、行事への参加等呼びかけていきたいと思っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	いつでも相談対応できる体制をとっており、要望にはできるだけ迅速に対応できるよう努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	毎月のお便りやセンターの広報誌で情報発信を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	利用開始時に、個人情報の取扱いに関する同意書をいただき、管理しています。今後も個人情報の管理に努めてまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	わかりやすい情報伝達に努めています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	コロナウイルス感染症をきっかけに行事への招待は行っていませんが、近隣住民にセンターの広報誌を配布することで活動の様子などを発信しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的に訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	毎年、プロフィール表の確認を行うとともに服薬等に変化があった場合なども、その都度状況確認を行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	適切に実施しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、必要な研修や訓練、各種点検等を実施しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	避難訓練等を通じ、家族等に周知しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	所内でインシデントアクシデントの報告、検証を行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	所内委員会が実施する研修を全員が受講しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	所内で委員会を設置し、指針を策定しています。現在通所には対象者がいませんが、職員間で認識を統一し、やむを得ず実施する場合は適切に対応できるようにしていきます。